

日産

エクシード™ フロアブル

Isoclast™ active

水稻用殺虫剤

水稻の吸汁性害虫防除に、唯一のスルホキシイミン系殺虫剤。

水稻の大敵、斑点米カメムシ類、ウンカ類、ツマグロヨコバイに

優れた殺虫効果を発揮！

吸汁性害虫防除のスペシャリストが、ついに誕生。

速効力と持続力で、お米作りをサポートします。

だいず、
えだまめの
カメムシ類に
適用拡大！



★池田二三高氏撮影

アカスジカスマカメ★

トビイロウンカ

斑点米を徹底阻止！
吸汁性害虫防除の新たな力！

■特長

- 1：唯一の「スルホキシイミン系」殺虫剤です。
- 2：水稻で問題となる*斑点米カメムシ類、ウンカ類、ツマグロヨコバイに安定した効果を示します。
- 3：散布回数は3回まで、収穫7日前まで使用できます。(稻)

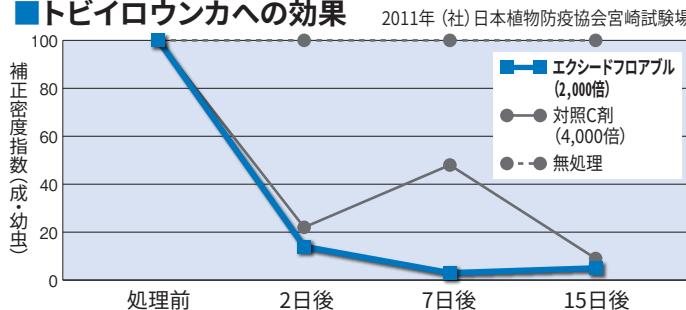
*カスミカメムシ科、ホソハリカメムシ、クモヘリカメムシ、ミナミアオカメムシなど各種斑点米カメムシ類に対し、優れた斑点米抑制効果を示します。

■アカスジカスミカメへの効果



[試験概要] ●発生状況:多発生 ●品種:ひとめぼれ(移植;5月17日) ●区制:1区121.6m²(19m×6.4m) 反復なし(3箇所調査) ●処理方法:8月7日(穂揃期)と8月14日に動力噴霧機にて120ℓ/10aを散布 ◆調査方法:1回目自薬剤処理前日(8月6日)、処理4日後、6日後(2回目処理前日)、2回目処理6日後、17日後に、各区20回すくい取りし、捕獲虫は計数後のすくい取り位置に戻し、場所が重ならないように3箇所を調査した

■トビイロウンカへの効果



[試験概要] ●発生状況:少発生(区内中央に成幼虫約500頭を放飼) ●品種:ヒノヒカリ(移植;6月26日) ●区制:1区100m²(9.1×11.0m) 反復なし(3箇所調査) ●処理方法:9月5日(乳熟期)に背負式動力噴霧機を用いて114ℓ/10aを散布 ◆調査方法:9月5日(処理前)、処理2、7、15日後に、区内3箇所のそれぞれ10株に生息している虫を粘着板へ払い落し、成・幼虫数を調査

■エクシードフロアブルの適用害虫と使用方法

作物名	適用場所	適用害虫名	希釈倍数(倍)	10アール当り使用液量	使用時期	使用方法	本剤およびスルホキサフルを含む農薬の総使用回数		
稻	—	ウンカ類 ツマグロヨコバイ カメムシ類	2,000 500 16	60~150ℓ 25ℓ 0.8ℓ	収穫7日前まで	散布 無人航空機による散布	3回以内		
		イナゴ類	2,000	60~150ℓ		散布			
		カメムシ類							
水田作物 畑作物 (休耕田)	ヨシ、オギ、ススキ、 セイタカアワダチソウ等の 多年生雑草が優占している休耕田	100~300ℓ		収穫14日前まで					
だいす	—	カメムシ類	16	0.8ℓ	—	無人航空機による散布	2回以内		
えだまめ			2,000	100~300ℓ		散布			
			16	0.8ℓ	収穫前日まで	無人航空機による散布			

■使用上の注意事項



- 使用前に容器をよく振ってから使用してください。
- 本剤の所要量を所定量の水にうすめ、よくかき混ぜてから散布してください。
- 使用量に合わせ薬液を調製し、使いきってください。
- 本剤を稻に対して希釈倍数500倍で散布する場合は、所定量を均一に散布できる乗用型の速度連動式地上液剤少量散布装置を使用してください。
- 本剤を無人航空機による散布に使用する場合は、次の注意事項を守ってください。
 - ・散布は各散布機種の散布基準にしたがって実施してください。
 - ・散布機種に適合した散布装置を使用してください。
 - ・散布中、薬液が漏れないように機体の散布配管その他散布装置の十分な点検を行ってください。
 - ・散布中、薬液の飛散によって動植物の被害や自動車の塗装等に被害を与えるおそれがあるなど、各分野に影響があるので、散布区域内の諸物件に十分留意してください。
 - 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかかるないようにしてください。

●使用前には、ラベルをよく読んでください。 ●ラベルの記載以外には使用しないでください。

●空容器は圃場などに放置せず、3回以上水洗し、環境に影響のないよう適切に処理してください。洗浄水はタンクに入れてください。 ●防除日誌を記帳しましょう。

本資料は2022年8月現在の知見に基づき、作成されています。



日産化学株式会社

東京都中央区日本橋二丁目5番1号
ホームページ <https://www.nissan-agro.net/>
お客様窓口 TEL.03-4463-8271(9:00~17:30 土日祝日除く)